

2016年度がん征圧全国大会  
記念シンポジウム

「現場から見たがん検診の  
現状と課題」

公益財団法人鹿児島県民総合保健センター  
西俣寿人

# 本日の講演の内容

- 鹿児島県民総合保健センターの概要
- 鹿児島県のがんの現状
- 鹿児島県のがん検診の実態（実績）
- 鹿児島県のがん検診の現状と課題

# 県民総合保健センターの概要

# 検(健)診受診者内訳

受診者数(人)

集団検(健)診事業	結核検診	233,640	施設健診事業	人間ドック	12,213
	がん検診等	446,006		精密検診	89
	喀痰細胞診	3,951		健康相談	2,140
	骨検診	15,834		健康診断	2,188
	地域(複合)・職域健診	56,395		事業所・半日がん・特定健診	4,838
	学校心臓検診等他	18,090		ヘリカルCT	1,367
	先天性代謝異常検査	48,689		甲状腺エコー・骨・C型肝炎・血圧脈波・頸部超音波・内臓脂肪CT 他	9,917
	肝炎ウイルス検査	9,142		合計	32,752
	細菌・水質検査	36,708			
	合計	868,455			

平成27年度

総計 901,207人

# 鹿児島県民総合保健センターの 検診車保有台数 40台

平成28年4月末

胸部検診車	12台
胃検診車(デジタル検診車含む)	12台
胃・胸部併用車	1台
子宮検診車	3台
乳房検診車	3台
腹部超音波検診車	6台
心臓検診車	2台
身障者対応胸部X線デジタル検診車	1台

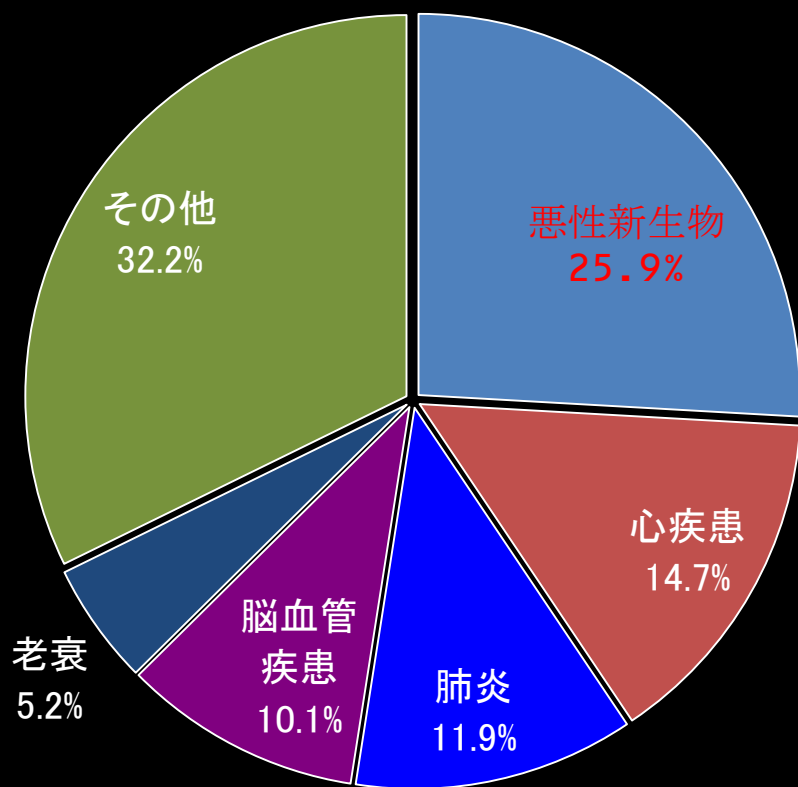
# 鹿児島県民総合保健センターの 対策型がん検診受託状況

- 肺がん検診、胃がん検診については43すべての市町村から検診を受託している
- 他の検診については複数の医療機関が対策型がん検診に参入しており、子宮がん検診については39/43、乳がん検診については37/43、大腸がん検診については11/43の市町村から検診を受託している

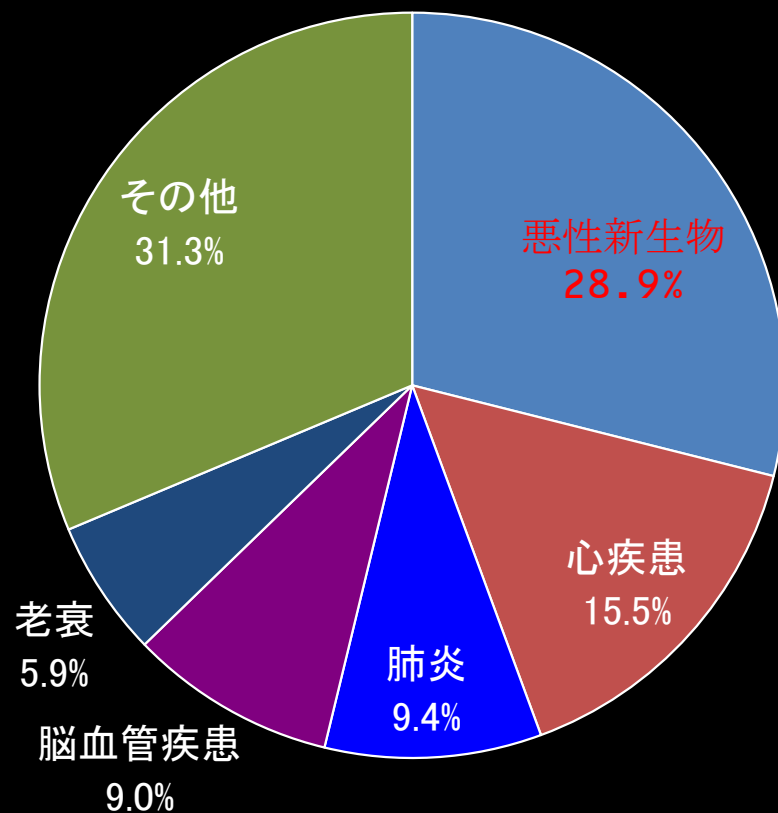
# 鹿児島県のがんの現状

# 主な死因の中のがんの占める割合 (鹿児島県・全国) (平成26年)

## 鹿児島県

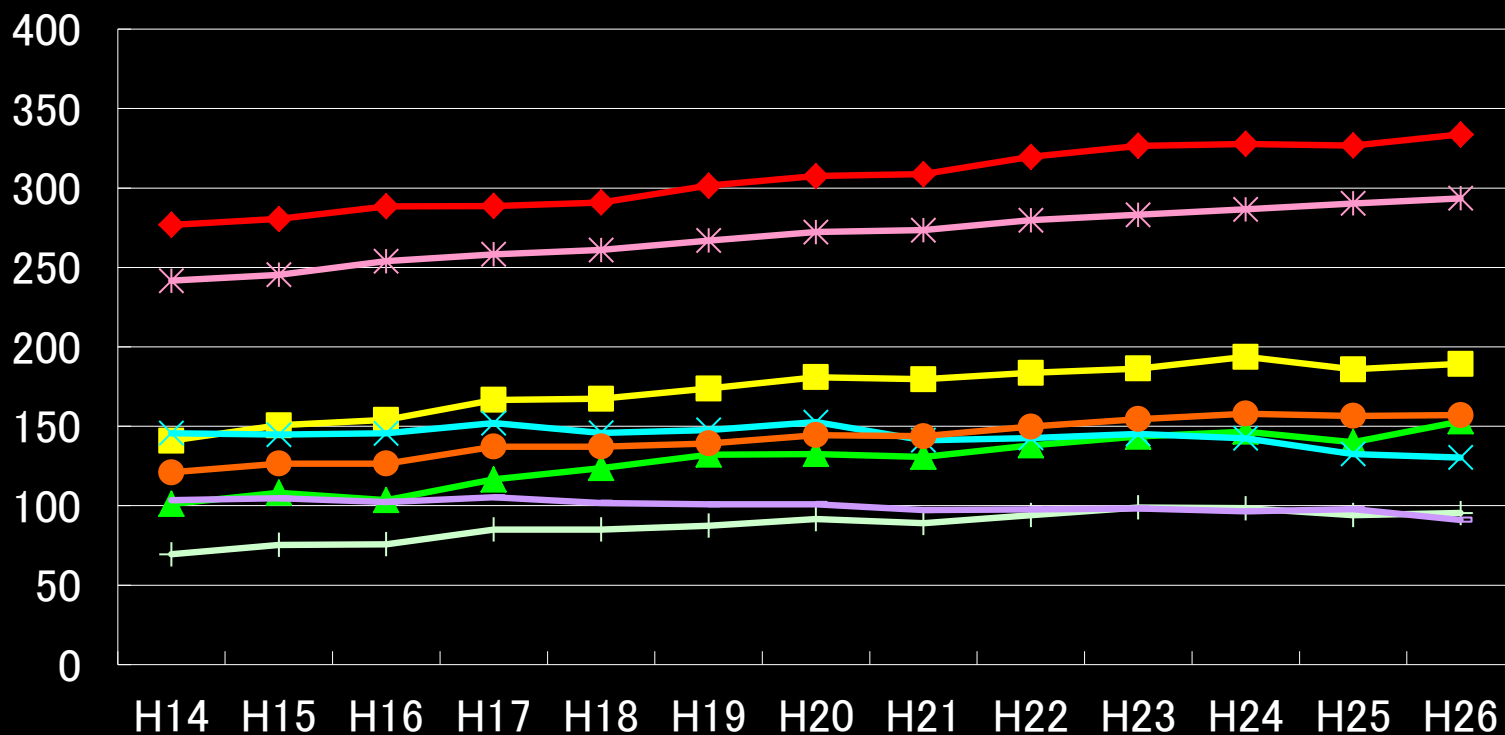
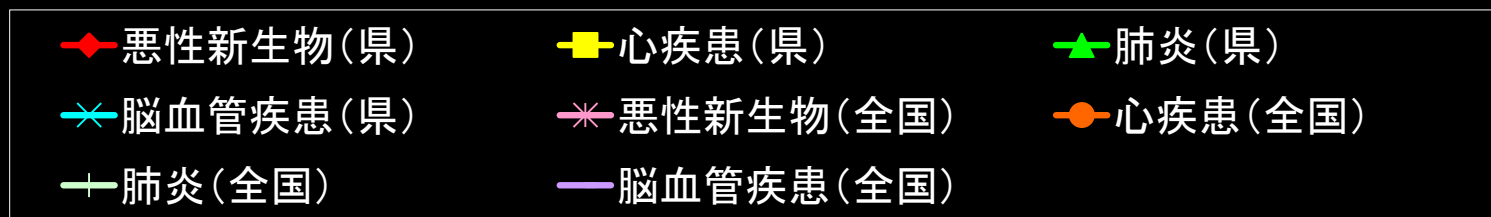


## 全国

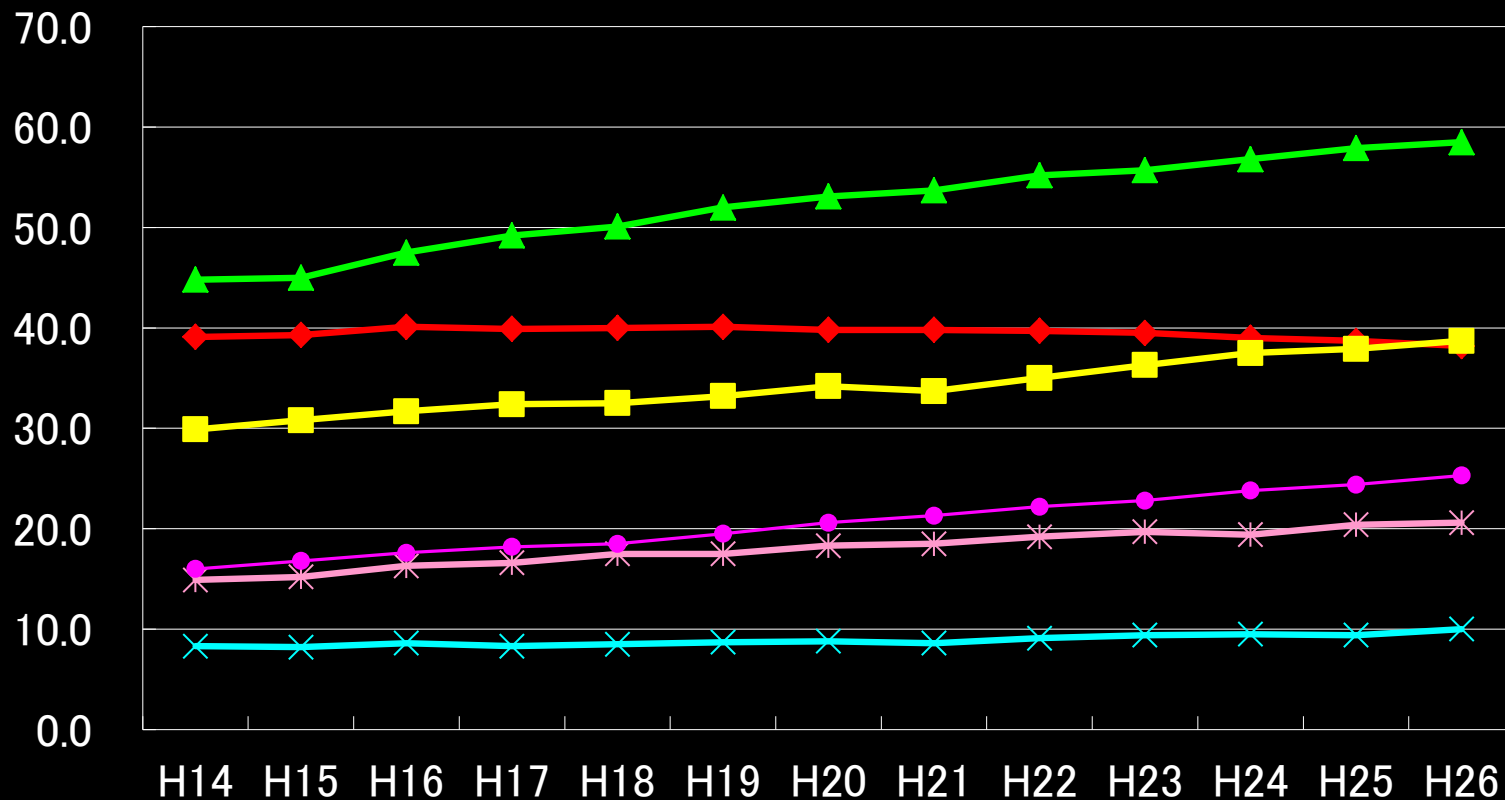
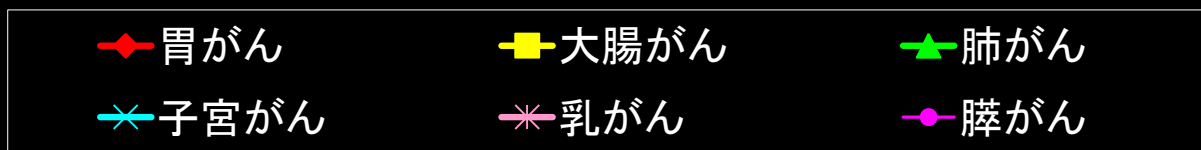




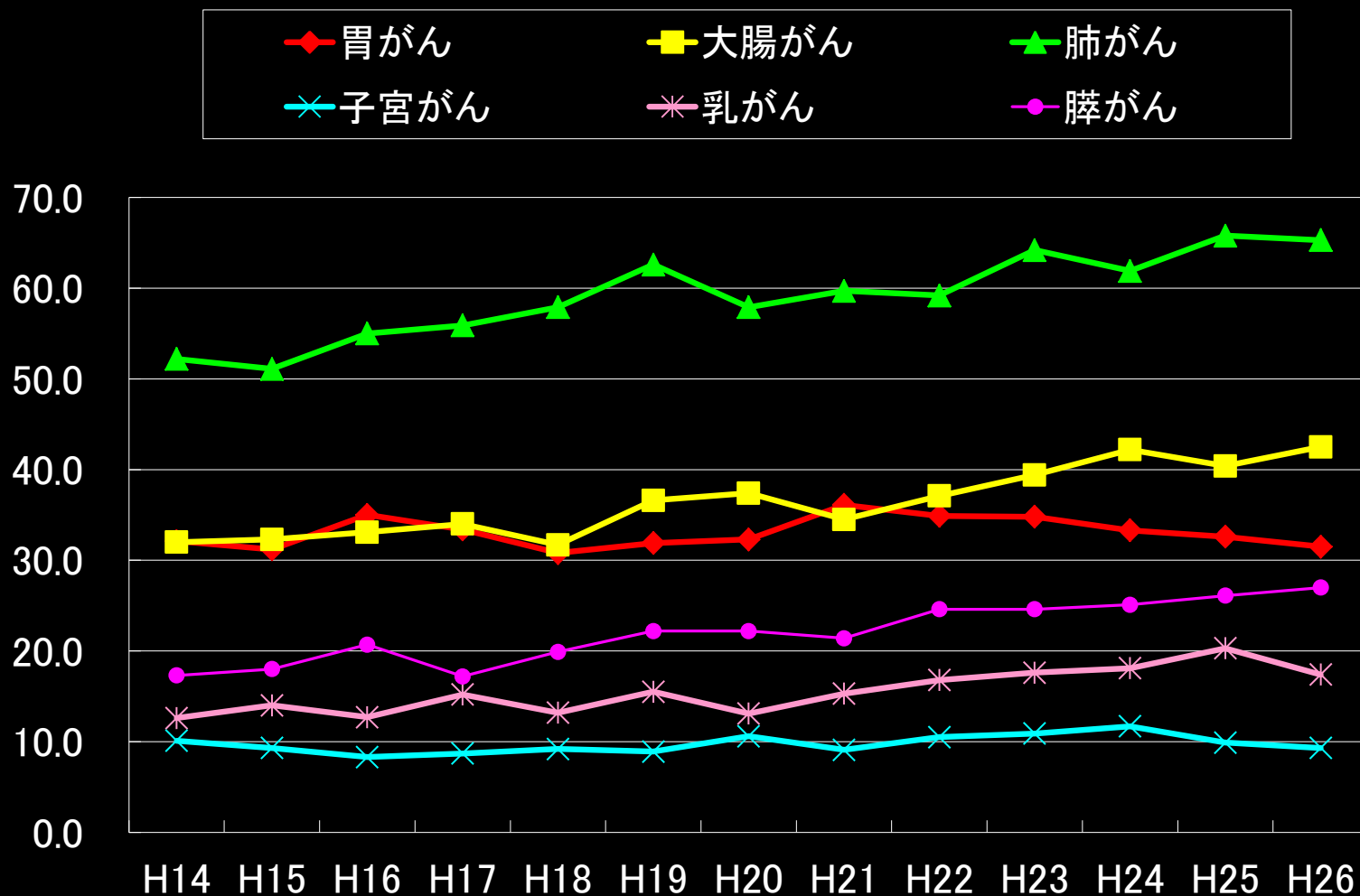
# 三大死因及び脳血管疾患の 死亡率(人口10万対)の年次推移



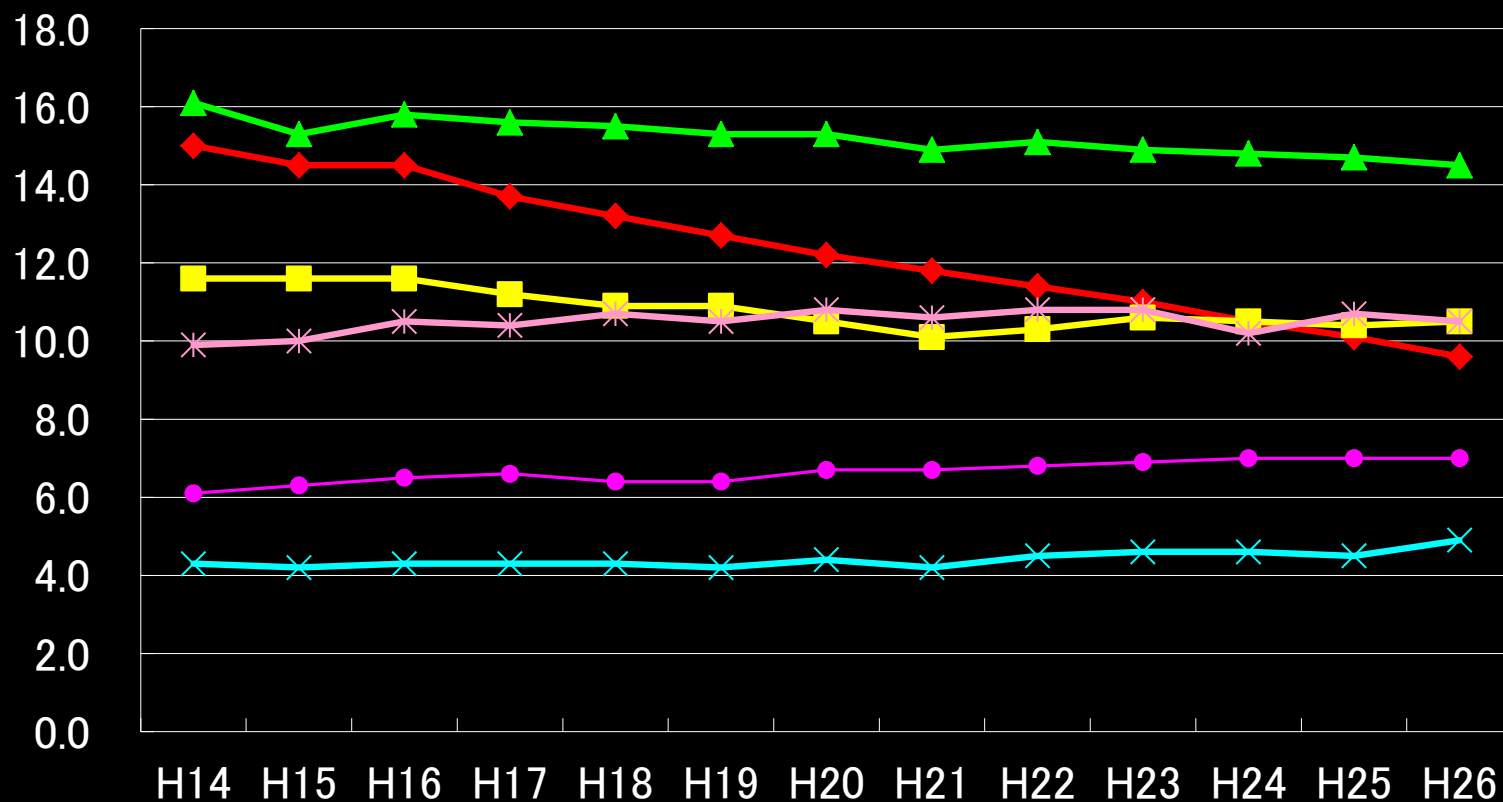
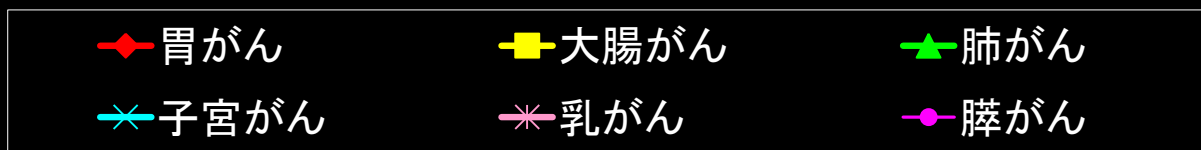
# がんの部位別死亡率年次推移 (全国 人口10万対)



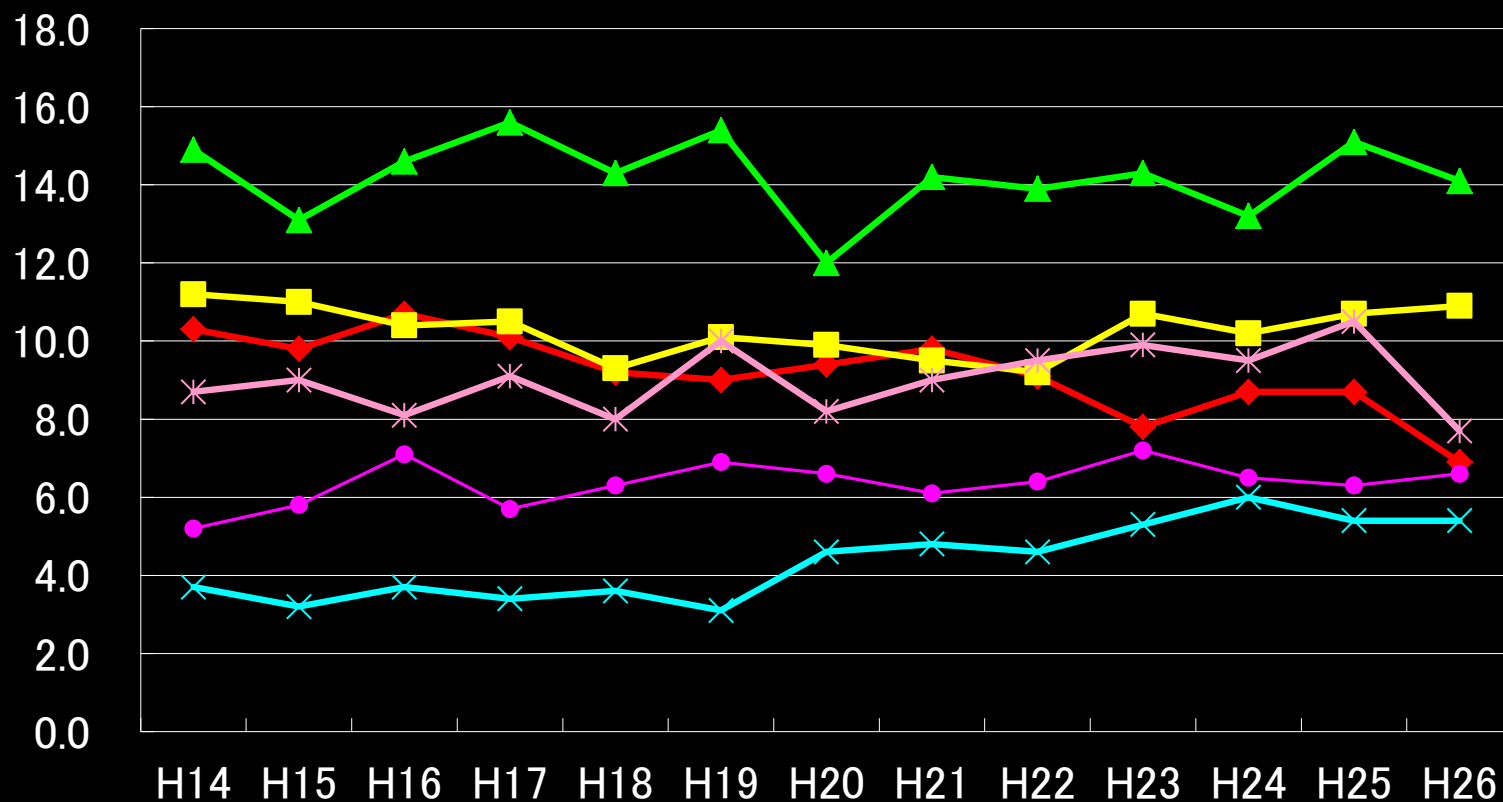
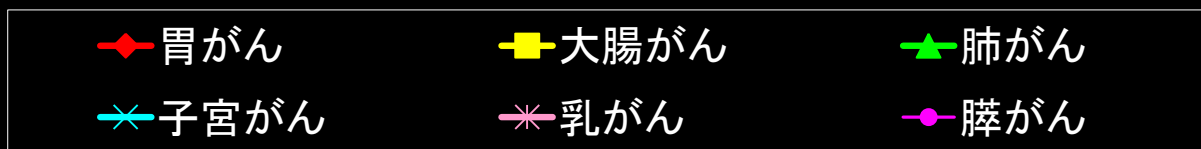
# がんの部位別死亡率年次推移 (鹿児島県 人口10万対)



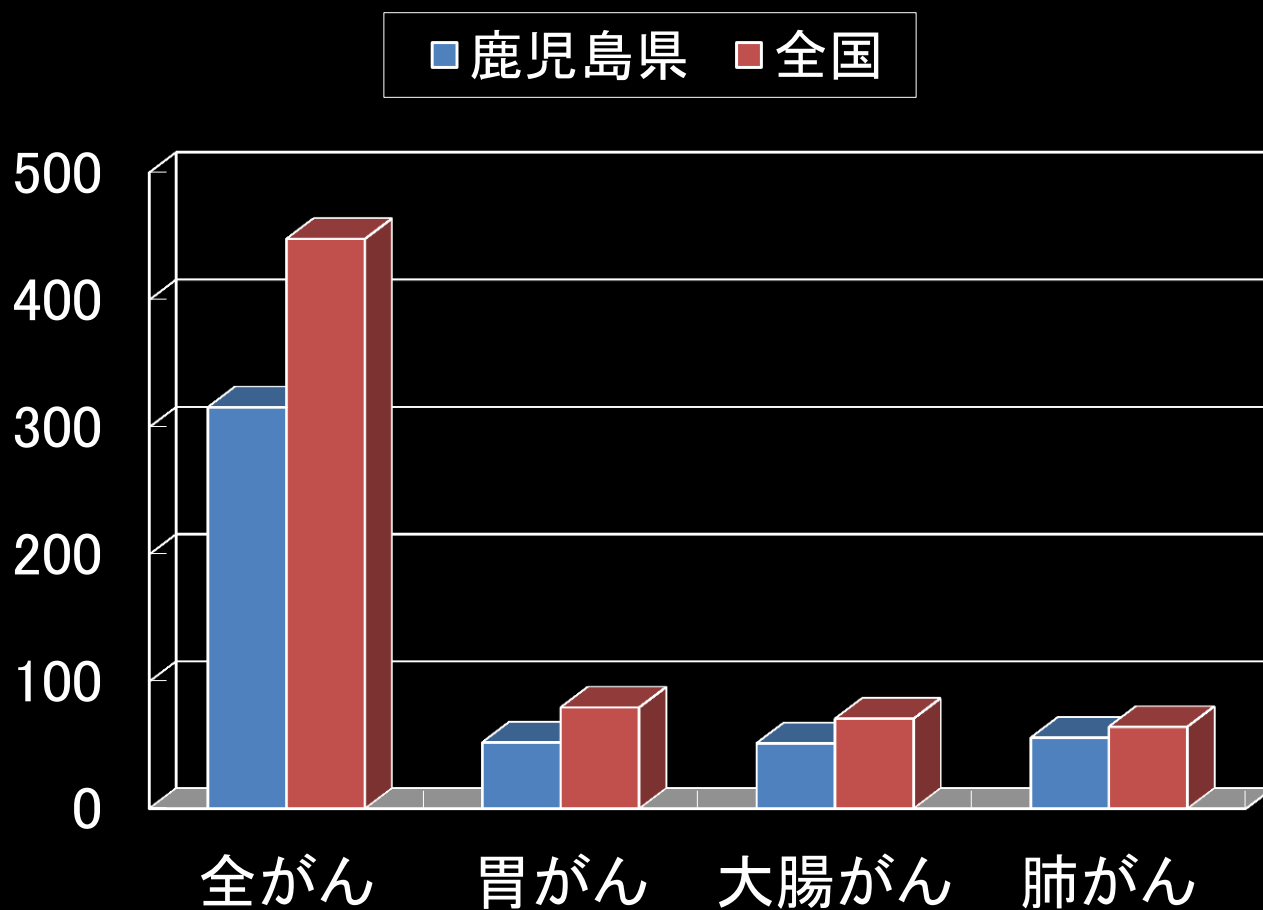
# がんの部位別年齢調整死亡率 年次推移(全国 人口10万対)



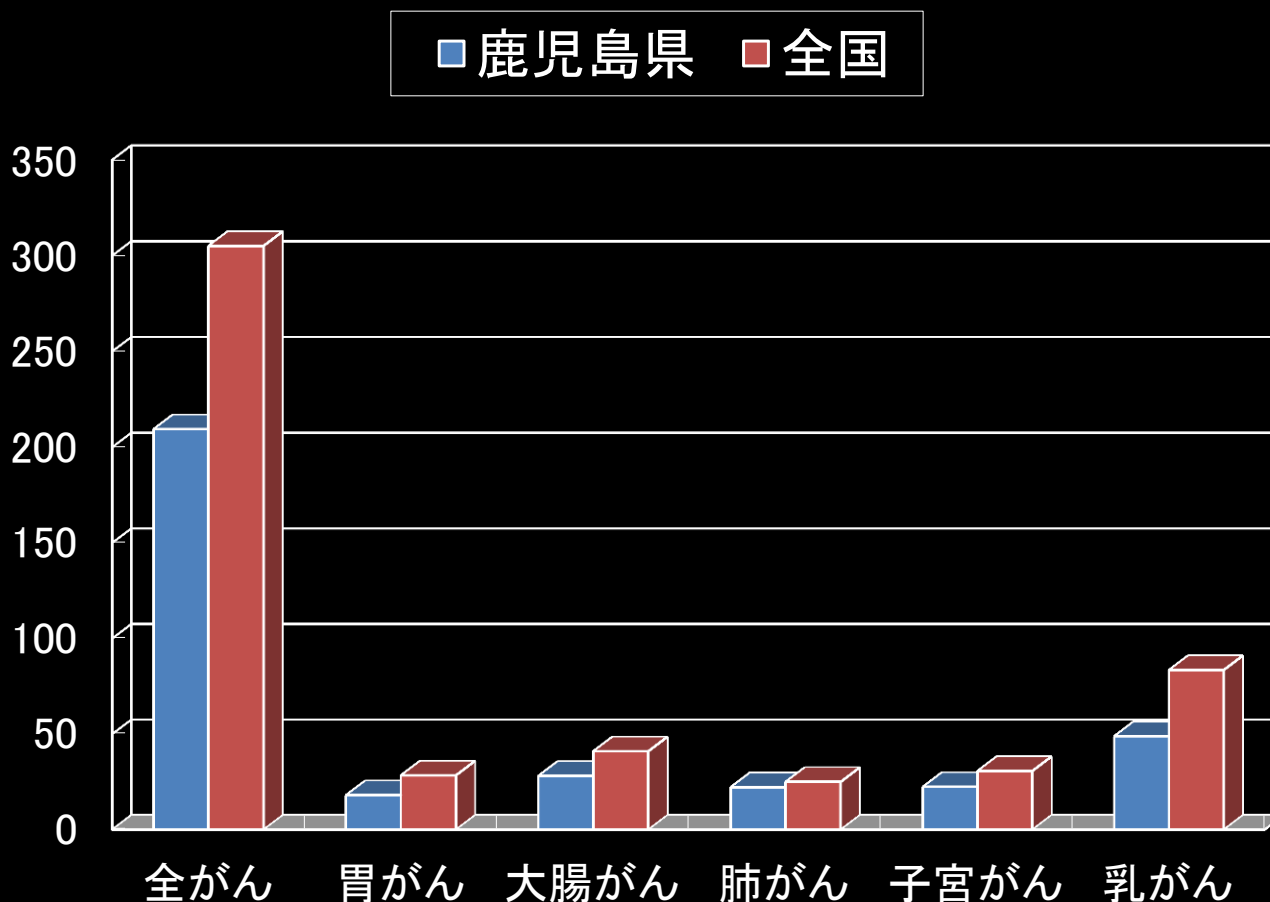
# がんの部位別年齢調整死亡率年次推移 (鹿児島県 人口10万対)



# 鹿児島県と全国の部位別がん 年齢調整罹患率 (2012年 男性 人口10万対)



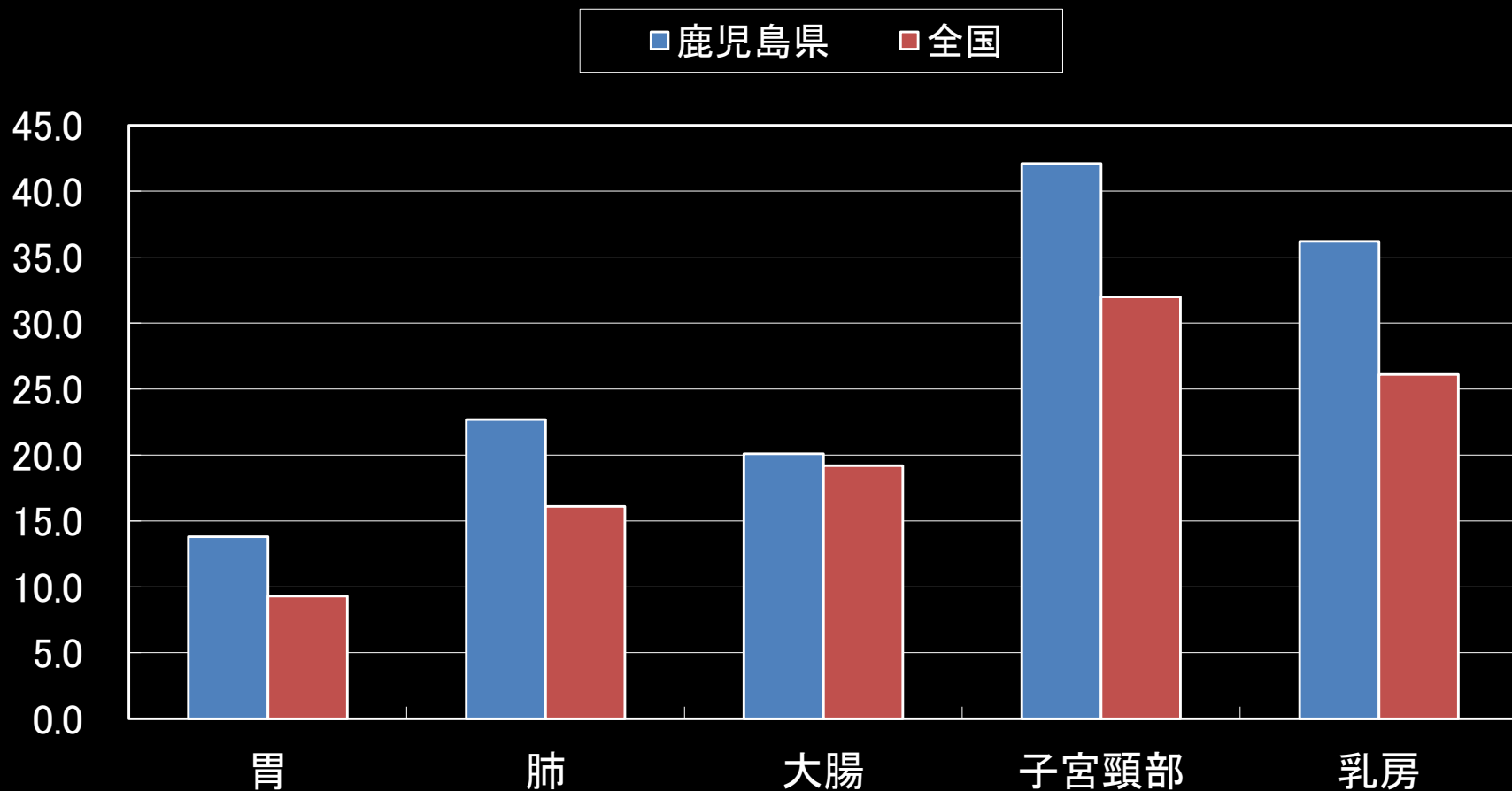
# 鹿児島県と全国の部位別がん 年齢調整罹患率(2012年 女性 人口10万対)



# 鹿児島県のがん検診の実績

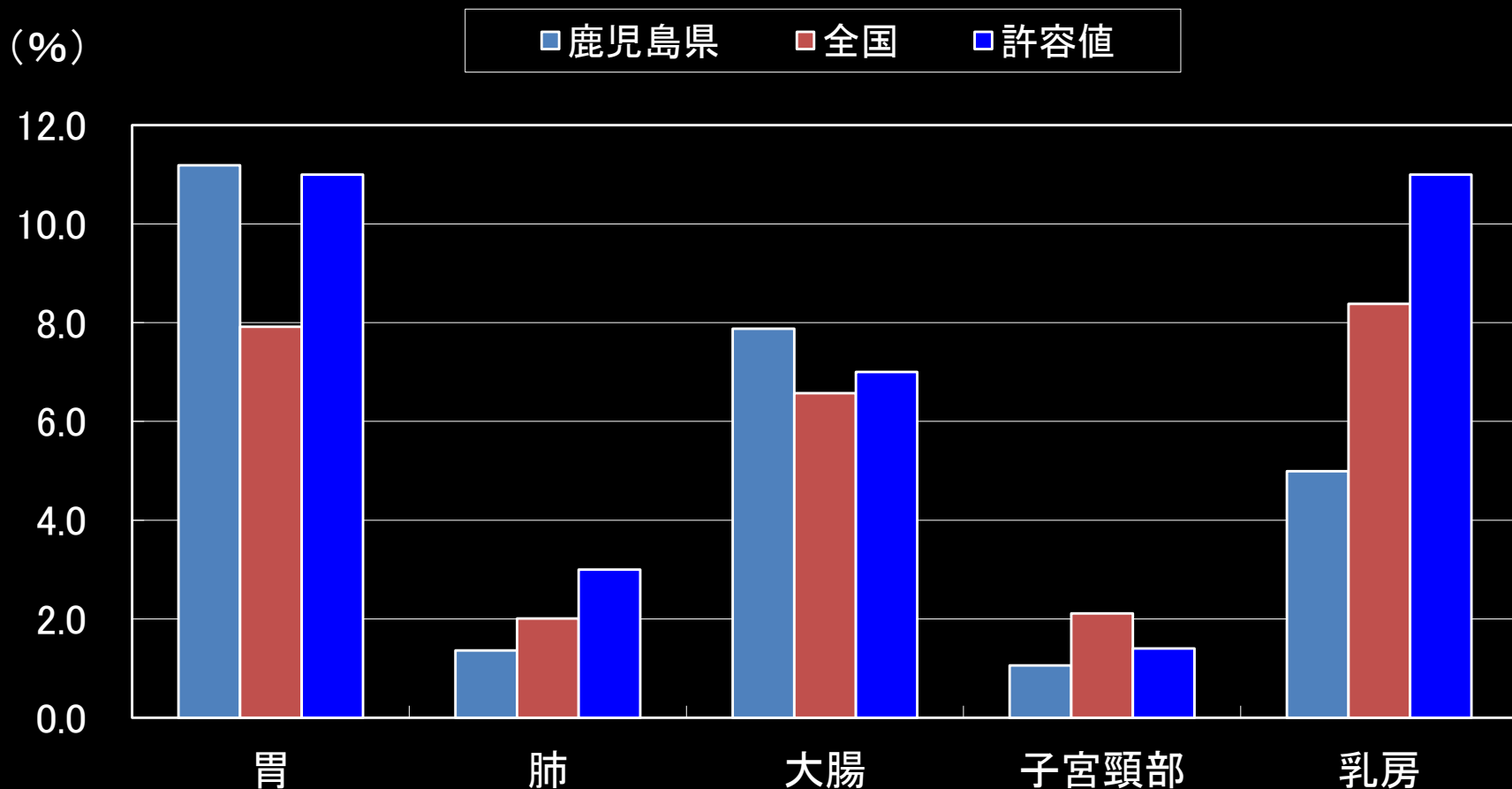


# 鹿児島県と全国の各がん検診 受診率（H26年度）



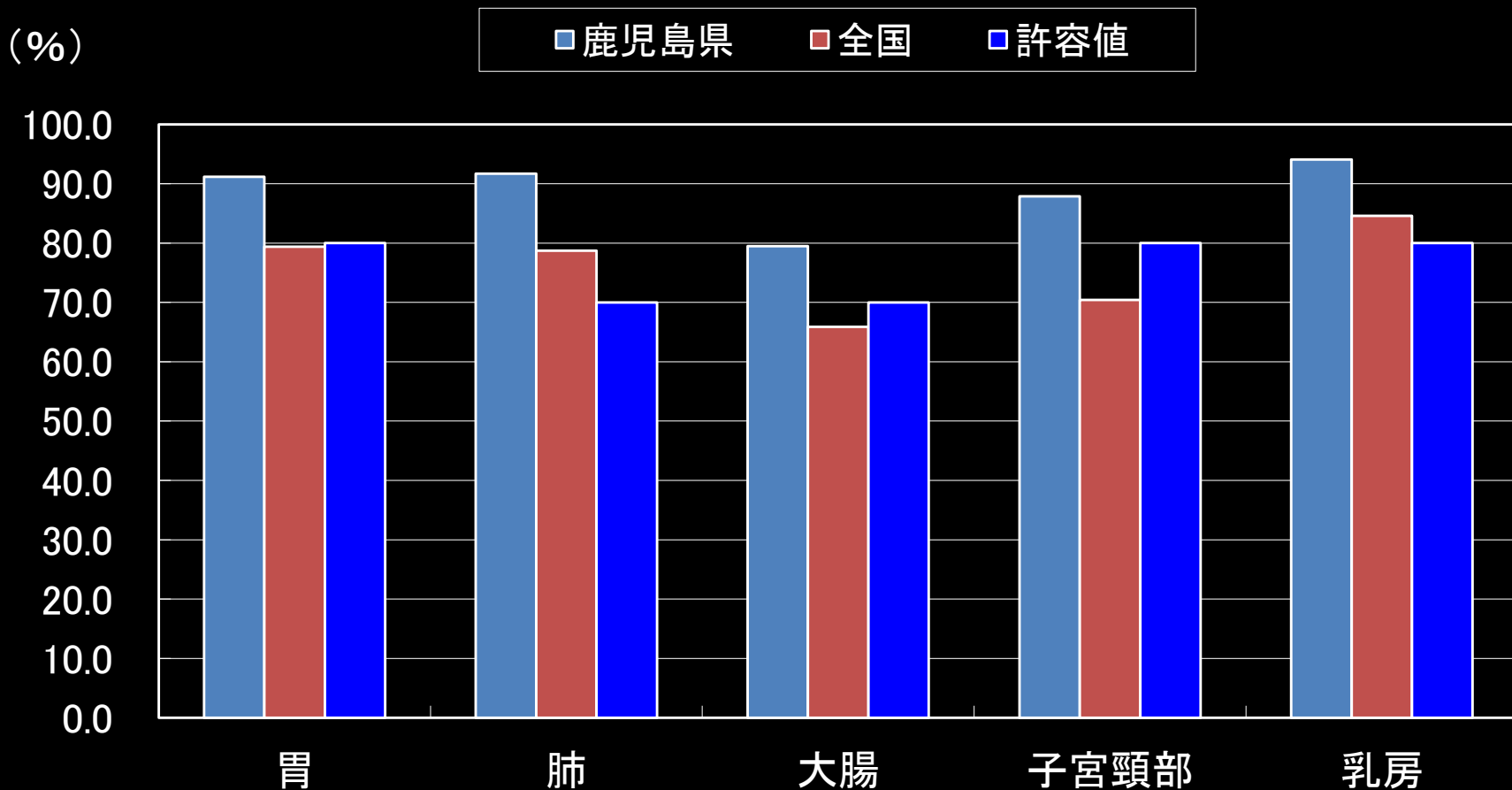
平成28年度鹿児島県生活習慣病検診等管理指導協議会資料  
平成25年度地域保健・健康増進事業報告より

# 鹿児島県と全国の各がん検診 要精検率（H25年度）



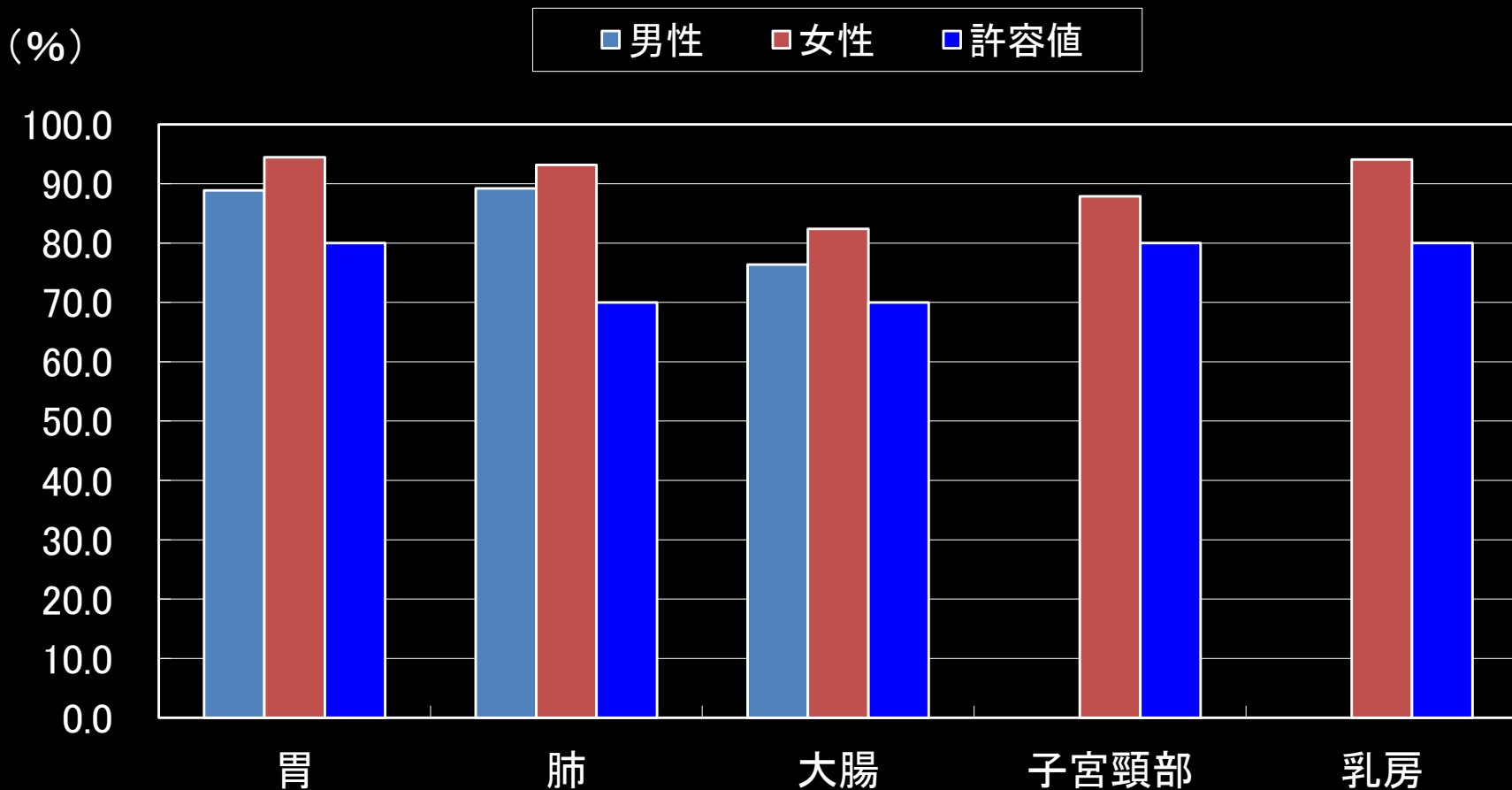
平成28年度鹿児島県生活習慣病検診等管理指導協議会資料  
平成25年度地域保健・健康増進事業報告より

# 鹿児島県と全国の各がん検診 精検受診率（H25年度）



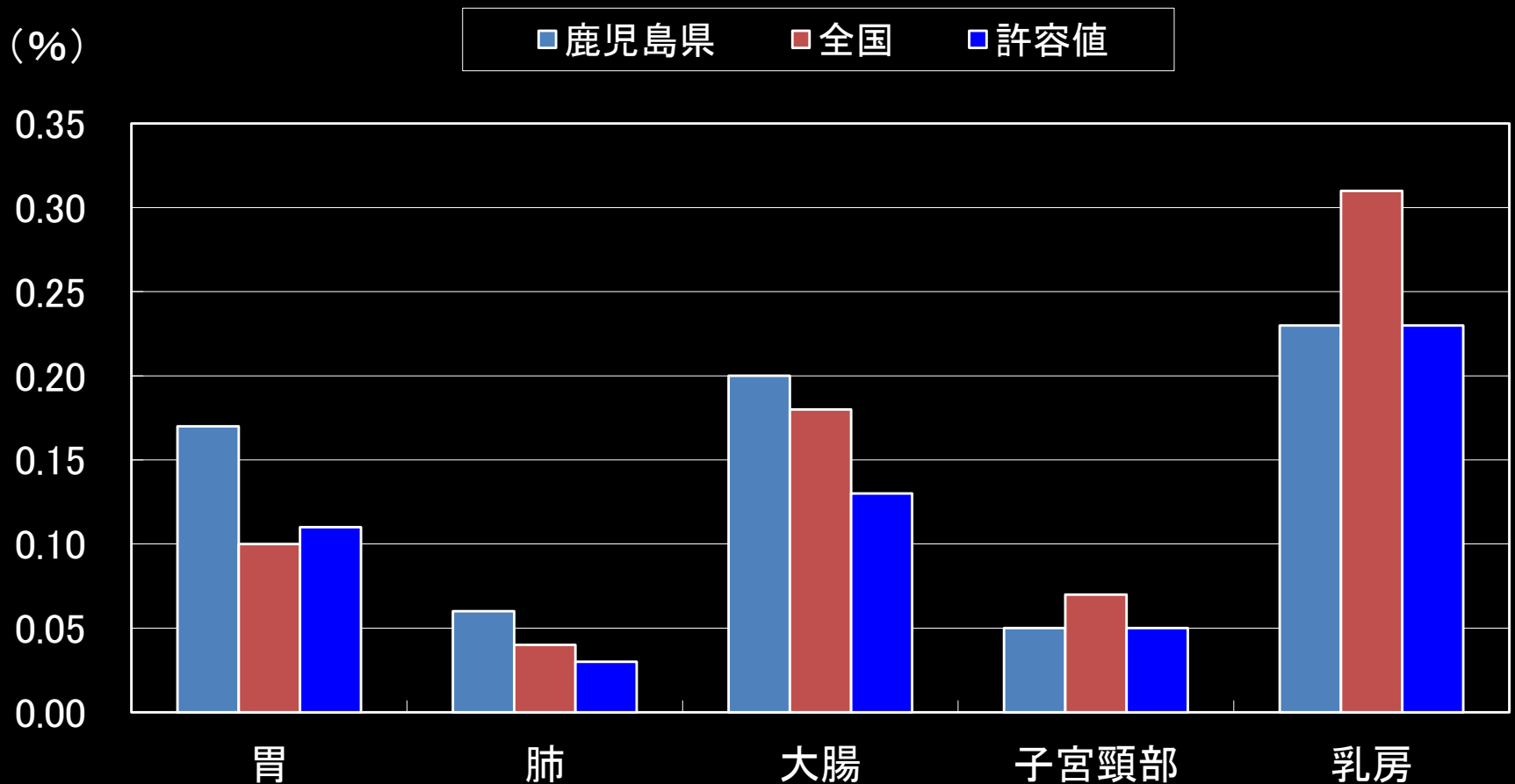
平成28年度鹿児島県生活習慣病検診等管理指導協議会資料  
平成25年度地域保健・健康増進事業報告より

# 鹿児島県の各がん検診 精検受診率(男女別 H25年度)



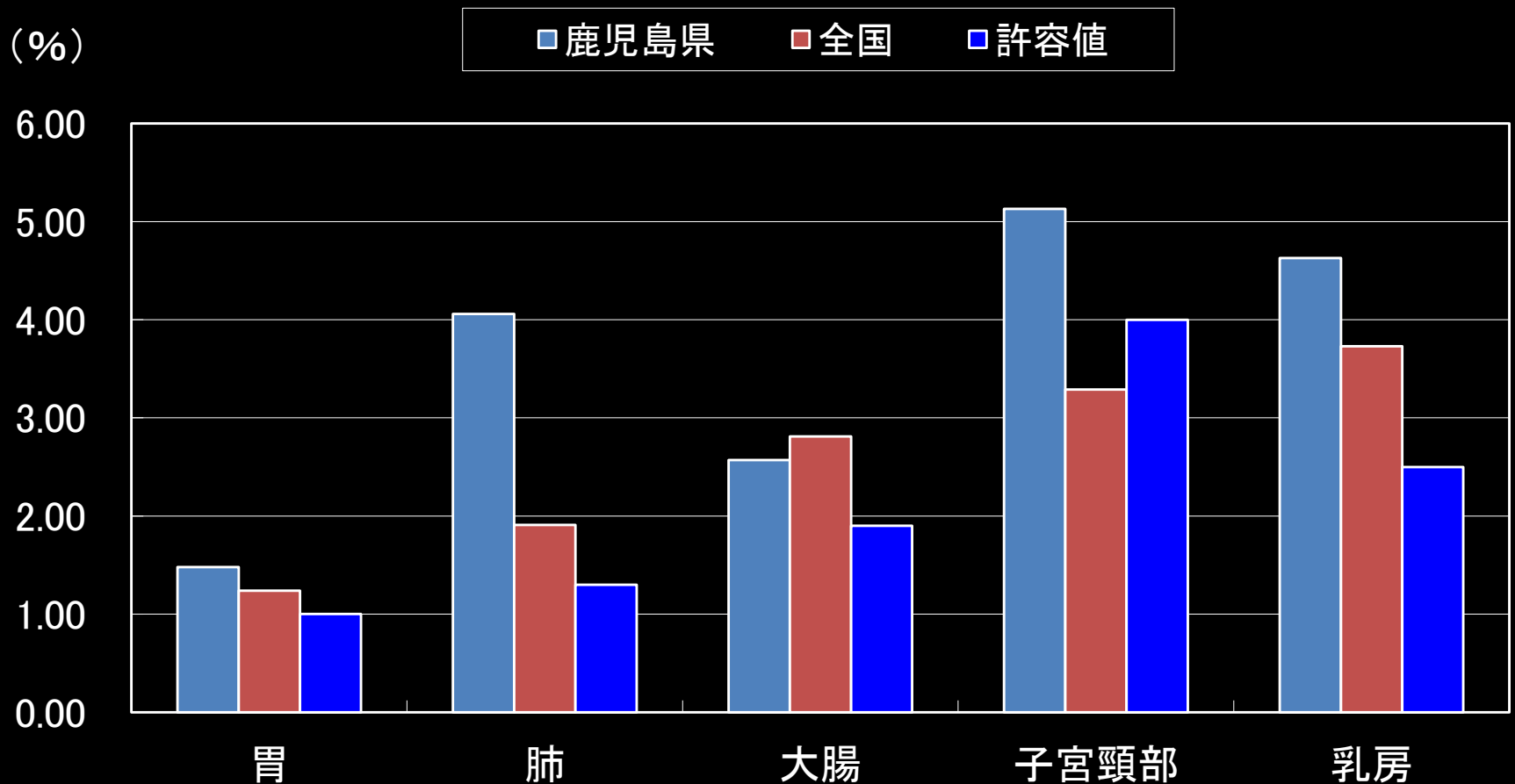
平成27年度鹿児島県生活習慣病検診等管理指導協議会資料  
平成25年度地域保健・健康増進事業報告より

# 鹿児島県と全国の各がん検診 がん発見率 (H25年度)



平成28年度鹿児島県生活習慣病検診等管理指導協議会資料  
平成25年度地域保健・健康増進事業報告より

# 鹿児島県と全国の各がん検診 陽性反応的中度(H25年度)



平成27年度鹿児島県生活習慣病検診等管理指導協議会資料  
平成25年度地域保健・健康増進事業報告より

# 鹿児島県のがん及びがん検診の 実情についてのまとめ①

- 多くのがん(対策型がん検診の対象となっているがんはすべて)で死亡率、年齢調整死亡率、罹患率は全国レベルを下回っている
- 上記の3つの指標の年次推移は全国のそれとほぼ同様の傾向を示している

# 鹿児島県のがん及びがん検診の 実情についてのまとめ②

- がん検診のプロセス評価では概ね一定の水  
準を確保している
- 特に精検受診率が安定して高い傾向にあり、  
がん発見率の高さに貢献していると思われる



# 鹿児島県の対策型がん検診の 現状と課題

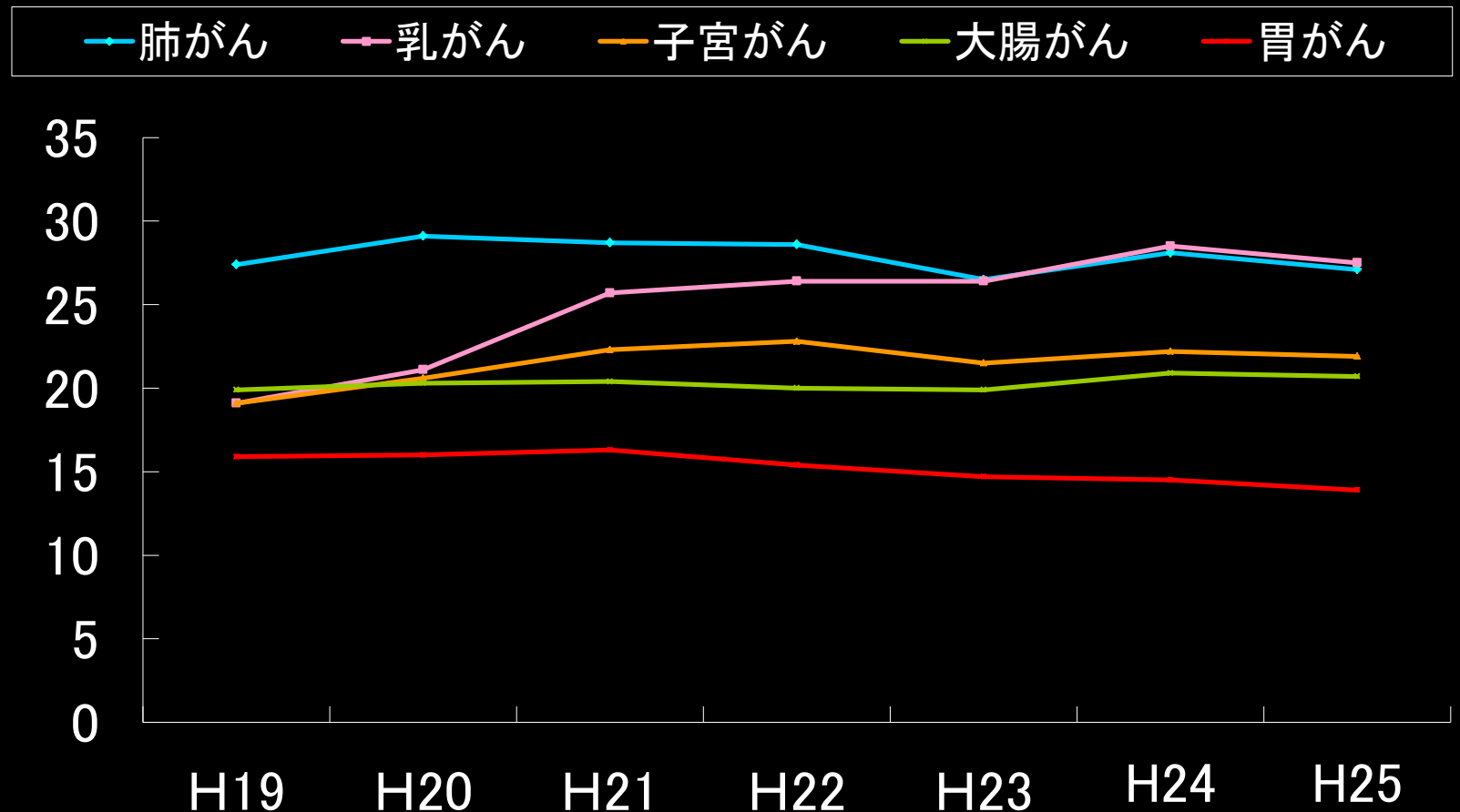
# 対策型がん検診全体を 通しての課題①

- 受診率の伸び悩み
- 検診実施の主体である市町村の、検診に取り組む姿勢に温度差がある

# 対策型がん検診全体を 通しての課題①

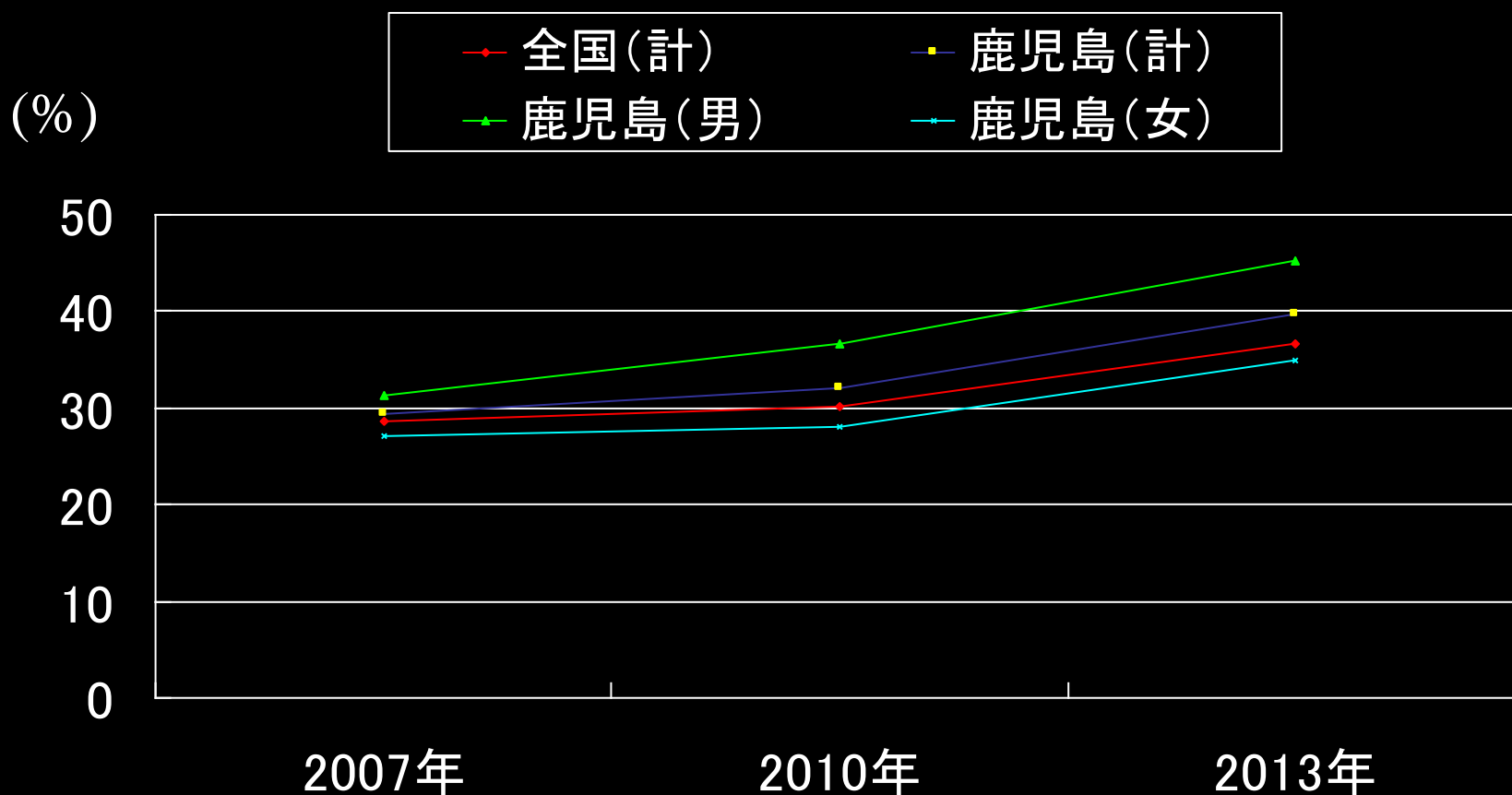
- 受診率の伸び悩み
- 検診実施の主体である市町村の、検診に取り組む姿勢に温度差がある

# 市町村における 対策型がん検診受診率



資料：県健康増進課調べ

# 国民生活基礎調査による胃がん検診 (任意型を含む)受診率の推移



# 対策型がん検診全体を 通しての課題①

- 受診率の伸び悩み  
(検診機関は検診の受託機関という立場  
である以上、受診率の向上には直接とり  
組みにくいという事情がある)
- 検診実施の主体である市町村の、検診  
に取り組む姿勢に温度差がある

# 対策型がん検診全体を 通しての課題②

- 対策型がん検診の品質に対する偏見(安かろう悪かろう)が払拭されていない(?)
- その一方で「がん検診(任意型を含む)の精度には限界がある」ことを多くの住民がきちんと理解していない(?)

# 対策型がん検診全体を 通しての課題③

- がん部会による精度管理、指導の限界
- 女性検診における女性スタッフの確保
- 信頼における読影医の確保



# 対策型大腸がん検診の課題

- 複数の検査機関の参入に伴い精度管理が困難になっている(一部の市町村による郵送法の採用等)
- 精検受診率(79.5%)が低い(鹿児島県では対策型がん検診で唯一の70%台)

# 対策型肺がん検診の課題

- 読影医の確保
- デジタル撮影によるX線写真の読影体制  
(開業医の読影医等が読影装置を自宅に置くスペースを確保できない)

# 対策型子宮がん検診の課題

- 検診医(特に女性医師)の確保
- 20歳代の女性への検診受診に向けての啓発(20歳代の受診率は14.9%と低く、精検受診率も低い)

# 対策型乳がん検診の課題

- 女性の放射線技師、運転技師の女性スタッフの確保
- 30～40歳代の受診者の超音波検診希望への対応（一部市町村からの要望）

# 対策型胃がん検診の課題①

- 胃X線検査による検診の品質（精度）に対する住民の不安感が払拭されていない（？）  
（特に内視鏡検査との比較において）
- 読影医の確保が今後困難になる（最近、胃X線検査の読影を信頼して任せられることのできる医師がほとんど育っていない）

## 対策型胃がん検診の課題②

- 厚労省通達による28年度からの新しい胃X線検査による検診方法への対応
- 内視鏡検診のスタート(現実には個別検診となるため、検診の質や安全性の均てん化をいかに進めていくかが問題)

## 対策型胃がん検診の課題③

「胃がん検診を原則2年に1回とする」  
という厚労省の通達に関する私見

- どのがん検診においても検診精度は所詮100%ということはありません
- 逐年検診は単にがんを可及的早期に見出すという目的のためだけではない
- ある一定の間隔(頻度)でがん検診を繰り返すことによってがん検診の不確実性(精度の限界)をシステムとしてカバーするという効果も期待できる



- このような制度の改定は、「少しでも多くの救命可能ながんを見つける」というがん検診本来の使命に逆行するのではないか
- 「検診間隔を広げる」という方向での制度の見直しは精度の劣化に直結する可能性があり慎重な姿勢が求められる

ご清聴ありがとうございました